

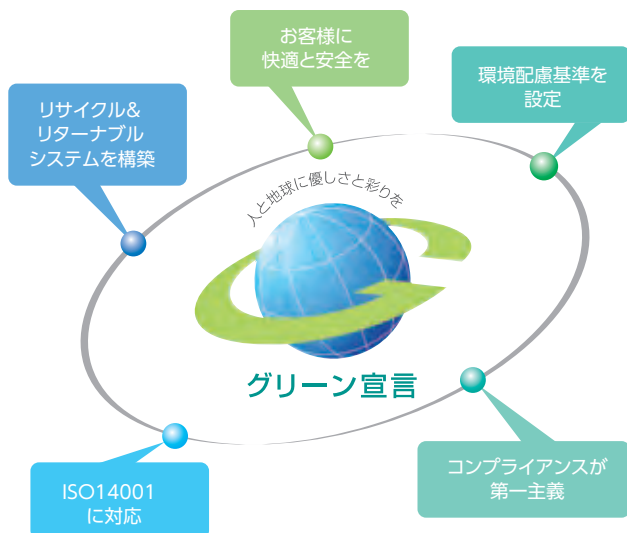
環境安全行動計画と実績

「環境への配慮」をコンセプトとしたアクションプランを策定し、全員参加でRC(レスポンシブル・ケア)活動などに取り組んでいます。

グリーン宣言

自分たちができることから実行することが、地球規模の環境を護ることにつながります。当社は『グリーン宣言』を掲げ、全社一丸となって「環境を護り、健康で快適な暮らしを創る」をテーマに、環境対応に積極的に取り組み、企業としての責任を遂行しています。

大日本塗料は
Green & Clean をめざしています。



環境安全行動計画

RCコード	行動計画
環境保全	VOC取扱量および大気排出量の削減
	廃棄物リサイクル率の向上
	消費エネルギー削減
	環境対応形商品の販売比率向上
保安防災	リスクアセスメントの実施と防災対策
	設備運用と保守点検
	設備事故の発生ゼロ
労働安全衛生	労働災害の発生ゼロ
	長期疾病率の低減
	5S活動とヒヤリハットマップの活用
物流安全	製品輸送、取り扱いにおける事故ゼロ
	輸送安全措置用品(イエローカード、吸着材など)携行の励行とセンター常備品(吸着材など)の保管徹底
化学品・製品安全	原材料の安全性情報の整備
	SDSの提供
	環境・安全に配慮した製品設計と品質管理
社会との対話	地域社会との交流
	環境活動に関する情報発信



	2014年度活動実績	2015年度目標	中長期計画	関連頁
	<ul style="list-style-type: none"> VOC取扱量前年比 2%増 VOC大気排出量前年比 7%増 	<ul style="list-style-type: none"> VOC取扱量および大気排出量の削減(前年比) 	VOC排出抑制に直結するテーマとして、塗料配合中の有機溶剤削減に取り組むと共に、省エネルギー・廃棄物低減を推進する	P18
	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物リサイクル率 59% 廃棄物総量前年比 1.3%増 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物リサイクル率の改善 廃棄物総量の削減(前年比) 		P20
	<ul style="list-style-type: none"> 原油換算で前年比 6.0%減(原単位1.0%増) 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位で削減(前年比) 		P16
	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応形商品の品揃えを完了し、顧客、販売店に対するPRや環境セミナーによる拡販を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応形商品の拡販 		P4 P5 P8
	<ul style="list-style-type: none"> 生産各部署のリスクアセスメントにおける具体的な活動として、各設備の作業調査を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 設備、機械の持つ危険性を探り、対策を決定し、横展開を行う 新規設備導入時や設備改造時に際して、事前に危険有害性を確認し、必要な対策と管理方法を定める 	リスクアセスメントに基づく予防措置を含む作業時の保安防災体制を強化する	—
	<ul style="list-style-type: none"> 前年に引き続き写真などによる設備運転基準の見える化を実施 設備点検基準に基づき月次点検、半年毎に定期点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 設備保守点検を計画的にもれなく実施 		
	<ul style="list-style-type: none"> 物的事故4件発生 	<ul style="list-style-type: none"> 物的事故の発生ゼロ 		
	<ul style="list-style-type: none"> 休業災害1件 不不休災害3件発生 	<ul style="list-style-type: none"> 災害の発生ゼロ 	安全操業確保のための企業風土の維持・改革に努めると共に、従業員のメンタルヘルスにも配慮した働きやすい職場の実現を図る	P24 P26
	<ul style="list-style-type: none"> 長期疾病率5.25% 	<ul style="list-style-type: none"> 長期疾病率全社目標2.4% 		
	<ul style="list-style-type: none"> 工場全体で5S活動を推進 ヒヤリハット内容の検証を行い、対策を実施 安全衛生委員会および中央環境安全衛生委員会によるパトロールを実施 安全衛生ビデオを活用した安全教育を実施 安全衛生ニュースを毎月発刊しPR 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントの推進 5Sの展開 安全教育を重視し、繰り返し実施 PR・教育・訓練に関する基準類の整備活用 	製品輸送に関するリスクアセスメントを実施し、環境保全・安全・健康を確保する	—
	<ul style="list-style-type: none"> 危険物・劇物の積載・運搬上の注意事項徹底および実施 重大事故に繋がる過積載の防止を徹底 発生した事故については調査、対策報告を実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送取引における危険有害因子特定および周知とそのチェックの完全実施 製品輸送、取り扱いにおける事故ゼロ 		
	<ul style="list-style-type: none"> イエローカード「危」マーク・消火器・吸着材の携帯を実施 年一回抜き打ち検査を実施して携帯を確認 各センターの決められた場所に備品を用意(砂袋・ウエス・スコップ・ほうき) 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送安全措置用品(イエローカード、吸着材など)携行の励行とセンター常備品(吸着材など)の保管徹底 		
	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の法規制に対応した原料データベースの更新を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の安全性情報整備 	製品に関する化学物質などのリスクアセスメント実施要領作成とリスクアセスメント実施体制の構築	P18
	<ul style="list-style-type: none"> 原料情報のメンテナンスとSDSへの反映について継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> SDSのデータの最新化とGHS対応 		
	<ul style="list-style-type: none"> 各塗料事業部が対応している商品開発テーマについてデザインレビュー会議で審査 	<ul style="list-style-type: none"> 環境・健康・安全に配慮した製品設計・品質管理基準の見直しと徹底 		
	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会でボランティア活動を実施。地域主催の産業フェスティバルなどの行事にも積極的に参加し、交流活動を実施 工場見学、地域交流会などを開催 労働基準協会、危険物安全協会、防火協会、ISOネットワークなどの各協会に加盟し活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域関係団体、協会活動に取り組み情報交換 	地域立地企業として地域社会との融和を図り、社会から高い信頼を得るように努める	P27
	<ul style="list-style-type: none"> 社会・環境報告書、RC活動報告、環境セミナー、ホームページなどで情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・環境報告書、RC活動報告、環境セミナー、ホームページなどで情報公開 		